

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式  
**2-1A** 特定健診・特定保健指導 決済情報集計ファイル  
仕様説明書  
Version 4

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

## 目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
2.	文書項目	1
3.	XML仕様	2
3.1	集計情報 (Summary)	4
4.	コード表	4
5.	サンプル XML	5

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

## 修正履歴

2008.4.3 V1.4 より以後の修正履歴

日付	版	修正内容
2008年4月3日	1. 4	厚労省通知と連携して公表。
2009年3月30日	2	他の仕様説明書に合わせてバージョン番号を2に統一。 仕様上の修正はないが、厚労省通知を引用していることを明示。  1.1 説明を適正化。 3 説明を補足。
2017年3月31日	3	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診情報／特定保健指導情報交換用共通XMLスキーマ (co08_V08.xsd)の「詳細な健診項目コード(別表8)」「保健指導実施時点コード(別表11)」「保健指導区分コード(別表12)」に新規コードを追加</li> </ul> <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バージョンを「2」から「3」に修正</li> <li>ファイル名を決済情報集計ファイルに修正</li> <li>1.2参考資料の資料名を修正</li> </ul>
2020年3月31日	3. 1	<p>オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、加入者を特定するための被保険者証等枝番の項目追加と特定健診情報等の閲覧用ファイルの新規追加に伴う変更内容を反映させた。</p> <p>■XML仕様上に関する修正</p> <p>&lt;被保険者証等枝番の追加に伴う修正&gt;</p> <p>7. XMLスキーマ</p> <p>&lt;閲覧用ファイル追加に伴う修正&gt;</p> <p>4. コード表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表4 実施区分コード (3:「匿名化済」を明記、5:新規追加、6~9:予備追加)</li> </ul>
2023年3月31日	4	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施区分コードの名称変更に合わせて表4を修正</li> <li>XML名前空間を変更 (<a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html</a>)</li> </ul> <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本仕様書のファイル名を変更</li> <li>バージョンを「3.1」から「4」に修正</li> <li>6. XMLスキーマの記載を削除</li> <li>1.1目的の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除</li> <li>その他既存誤記及び見栄え修正</li> </ul>

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

# 決済情報集計ファイル仕様説明書

## 1. はじめに

### 1.1 目的

本書は、特定健診データの電子的交換に必要なファイルのうち、特定健診情報、及び、特定保健指導情報の決済情報集計ファイルのXML仕様を定めたものである。

### 1.2 参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

- [1] 厚生労働省, 「標準的な健診・保健指導プログラム(改定版)」
  - [2] 厚生労働省, 「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
  - [3] HL7 Inc, HL7 Version 3 Normative Edition 2006, <http://www.hl7.org/>.
  - [4] XML Schema Part 2: Datatypes, W3C Recommendation, <http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/>.
- ※[1]、[2]については、厚生労働省 HP「特定健診・特定保健指導について」(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

## 2. 文書項目

特定健診情報、特定保健指導情報の決済情報集計ファイルの項目を表1に示す。

表1 決済情報集計ファイル項目一覧

No	ファイルの記録内容	フィールド名称	記録内容
1	特定健診/特定保健指導集計情報	実施区分	特定健診:「1」を記録。特定保健指導:「2」を記録。
2		特定健診受診者/特定保健指導利用者の総数	特定健診受診者/特定保健指導利用者の総数を記録
3		特定健診の単価/特定保健指導の算定金額の総計	特定健診に係る決済情報の単価(合計)/特定保健指導に係る決済情報の算定金額の集計を記録
4		特定健診受診者/特定保健指導利用者の窓口負担の金額総計	特定健診/特定保健指導に係る決済情報の窓口負担金額(合計)の集計を記録
5		他の検診による負担金額の総計	集合契約において、他の法令に基づく検診(がん検診等)を共同実施した場合の、他の検診側で負担する金額(合計)の集計を記録
6		特定健診/特定保健指導の請求金額総計	特定健診/特定保健指導に係る決済情報の請求金額の集計を記録

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

### 3. XML 仕様

XML 設計における基本方針として、できる限り単純な XML とするが、日付や識別子などのデータ型のモデルは、HL7 CDA R2 形式で記述される特定健診情報/特定保健指導情報ファイルとの整合性を考慮した。また、内容の妥当性の確認のために属性値と内容モデルとの共起制約のチェックが必要になるといった、XML スキーマだけでは単純に記述できないような制約は可能な限り用いないことを方針とした。

本書では、XML 仕様を表 2 に示す表形式で記述する。

「要素名」で示される行は、その表に示される XML 要素名である。この要素の子要素または属性を表中の各行に示す。このとき、灰色に網掛けした行は XML 要素を表し、網掛けされていない行は、属性またはテキスト内容を表す。

「要素/属性」列は、各行が示す項目が XML 要素の場合要素名を、属性の場合は属性名を表す。属性名の前には「@」を付与する。テキスト内容の場合は「テキスト内容」を示す。

「型」列は、「要素」「属性」「テキスト」の 3 種類の値をとり、それぞれ、その行が表す内容が、XML 要素、属性、テキスト内容であることを示す。

多重度は、指定された要素または属性の出現数の最小値と最大値とを「..」の両端に示す形で表現する。最大値に制限がない場合は「\*」（アスタリスク）で示す。例えば、下表 2 の場合、interactionType 要素は、XML 中に 0 または 1 つのみ出現し、sender 要素は、1 つ以上複数個出現することを意味する。なお、多重度は、その項目の上位の項目が出現する場合の多重度となる。例えば下の例では、interactionType 要素の多重度が「0..1」で、その下位項目である code 属性の多重度が「1..1」であるということは、上位項目である interactionType 要素自体は省略することが可能であるが、interactionType 要素が出現する場合には、その下位項目である code 属性も必ず出現することを意味している。

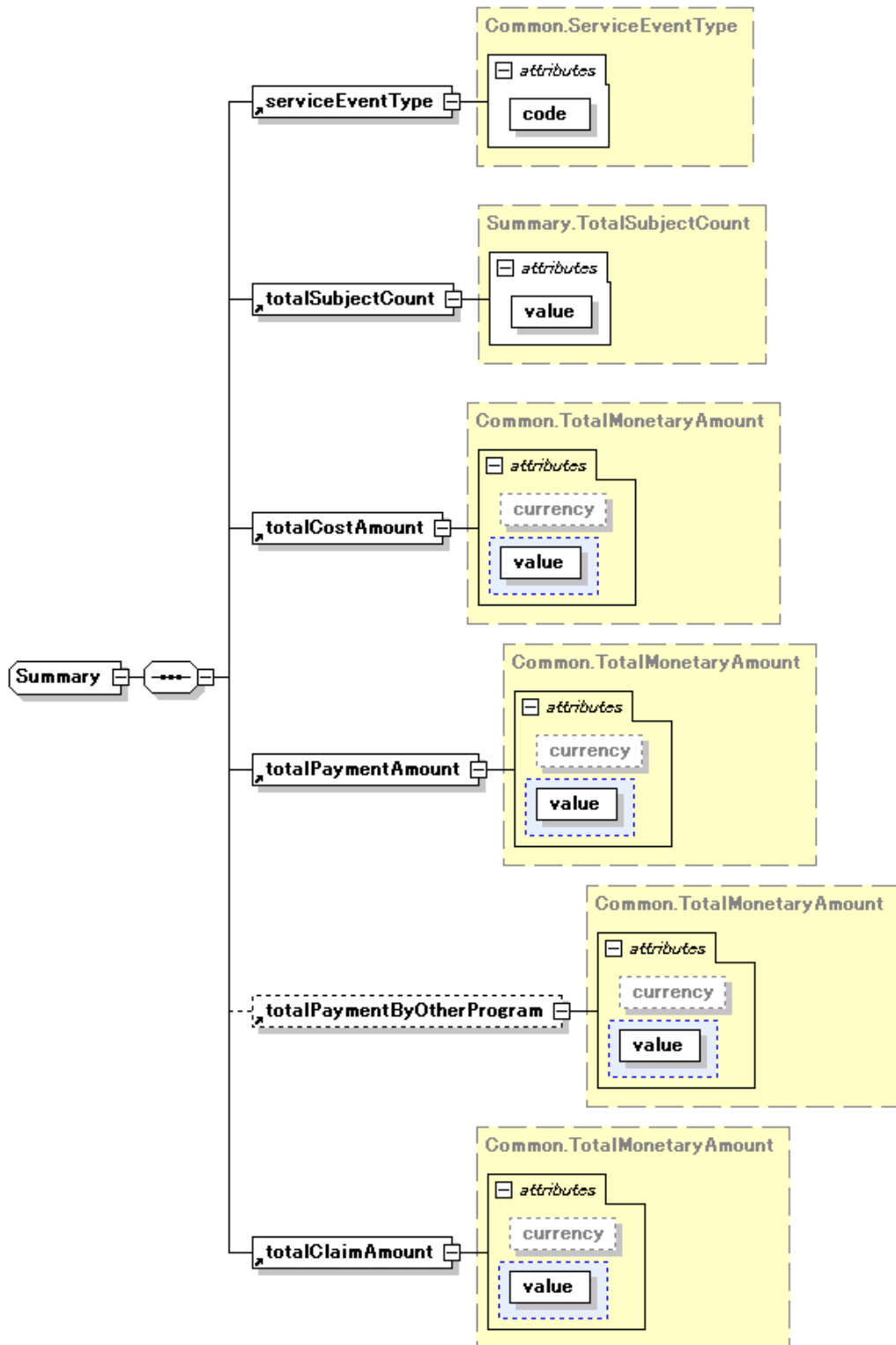
最小多重度が 0 である項目は、その要素または属性が存在しない場合があることを示す。もし記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。

ここで掲げる表は XML タグ仕様の読み方を示すために記載した架空のものであり、本仕様とは無関係のものとして見る必要がある。

表 2 本書における XML 仕様の表記例

要素名		index		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1.1	interactionType	要素	0..1	種別
1.1.1	@code	属性	1..1	表 2 のコード値
1.2	sender	要素	1..*	送付元機関
1.2.1	id	要素	1..1	送付元機関番号（以下のいずれかを値にとる） 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号：半角数字 10 桁 代行機関番号：半角数字 8 桁 保険者番号：半角数字 8 桁以内
1.2.1.1	@root	属性	1..1	機関番号を識別するオブジェクト識別子
1.2.1.2	@extension	属性	1..1	機関番号文字列

本書で定義する XML スキーマ(su08\_V08.xsd)の構造を図 1 に示す。



Generated by XmlSpy

www.altova.com

図 1 XML スキーマの構造

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

### 3.1 集計情報 (Summary)

特定健診情報／特定保健指導情報の決済情報集計ファイルの XML 仕様を以下に示す。  
totalPaymentByOtherProgram 要素は、健診の提出ファイルにおいてのみ使用し、共同実施を行わない場合は省略可能とする。その他のすべての子要素は必須要素であり、多重度は「1..1」となる

また、本規格は、特定健診の結果だけではなく、事業者健診や健康増進法に基づくがん検診といった、他の健診の結果を、事業者や市町村に送付する際にも使用することができる。その場合の実施区分は、「4:他の健診結果の受領分」を指定する。

表 3 集計情報 XML 仕様

型名		summary		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1	serviceEventType	要素	1..1	実施区分。
1.1	@code	属性	1..1	表 4 のコード値。
2	totalSubjectCount	要素	1..1	このアーカイブに含まれる受診者／利用者の総数。
2.1	@value	属性	1..1	総数を半角数字 6 桁以内で記載。
3	totalCostAmount	要素	1..1	特定健診：このアーカイブに含まれる単価の金額総計。 保健指導：このアーカイブに含まれる算定金額の総計。
3.1	@value	属性	1..1	単価／算定金額の総計を半角数字 9 桁以内で記載。
3.2	@currency	属性	1..1	通貨コード。「JPY」固定。省略可。
4	totalPaymentAmount	要素	1..1	このアーカイブに含まれる窓口支払金額の集計。
4.1	@value	属性	1..1	窓口支払金額の総計を半角数字 9 桁以内で記載。
4.2	@currency	属性	1..1	通貨コード。「JPY」固定。省略可。
5	totalPaymentByOtherProgram	要素	0..1	集合契約において、他の法令に基づく検診（がん検診等）を共同実施した場合の、他の検診側で負担する金額（合計）の集計。
5.1	@value	属性	1..1	窓口支払金額の総計を半角数字 9 桁以内で記載。
5.2	@currency	属性	1..1	通貨コード。「JPY」固定。省略可。
6	totalClaimAmount	要素	1..1	このアーカイブに含まれる保険者への請求金額の集計。
6.1	@value	属性	1..1	請求金額の総計を半角数字 9 桁以内で記載。
6.2	@currency	属性	1..1	通貨コード。「JPY」固定。省略可。

### 4. コード表

本 XML で使用するコード表を以下に示す。

表 4 実施区分コード

コード名	コード	内容	備考
実施区分 コード	1	特定健診情報	
	2	特定保健指導情報	
	3	国への実績報告(匿名化済)	保険者での設定は不要
	4	他の健診結果の受領分	事業者健診の結果を受領した場合
	5	国への実績報告(匿名化前)	
	6	予備	
	7	予備	
	8	予備	
	9	予備	

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

## 5. サンプル XML

特定健診情報・特定保健指導 決済情報集計ファイルの XML の例として、下記の内容を示す XML を以下に示す。

表 5 サンプル XML 内容

項目名称	値
実施区分	1 (特定健診情報)
特定健診受診者の総数	100 名
特定健診の単価の金額総計	5,802,457 円
特定健診の窓口支払金額の総計	1,234,567 円
他の健診による負担金額の総計	2,000,000 円
特定健診の請求金額総計	2,567,890 円

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<summary xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html ./XSD/su08_V0
8.xsd">
  <!-- 実施区分 -->
  <serviceEventType code="1"/>
  <!-- 特定健診受診者／特定保健指導利用者の総数（100名の場合） -->
  <totalSubjectCount value="100"/>
  <!-- 特定健診 単価総計／特定保健指導 算定金額総計（5,802,457円の場合） -->
  <totalCostAmount value="5802457" currency="JPY"/>
  <!-- 特定健診／特定保健指導の窓口支払の金額総計（1,234,567円の場合） -->
  <totalPaymentAmount value="1234567" currency="JPY"/>
  <!-- 他の検診による負担金額の総計（2,000,000円の場合） -->
  <totalPaymentByOtherProgram value="2000000" currency="JPY"/>
  <!-- 特定健診／特定保健指導の請求金額総計（2,567,890円の場合） -->
  <totalClaimAmount value="2567890" currency="JPY"/>
</summary>
```



特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

#### Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班